

夕張市財政再生計画の変更 (令和6年3月)の概要

- 本年1月19日に夕張市の財政再生計画の変更について総務大臣が同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、令和5年度及び令和6年度の各年度の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保等により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針等について変更はない。

I 歳入・歳出額の変更における主な内容

1 主な変更事項

令和5年度

(1) 幸福の黄色いハンカチ基金積立 (+235百万円)

夕張まちづくり寄附条例に基づき、夕張市のまちづくりに関して寄せられた寄附金(ふるさと納税)を「幸福の黄色いハンカチ基金」へ積み立てるもの。

(財源) 寄附金収入 235百万円

(2) 低所得世帯支援補足給付金給付事業 (+25百万円)

昨今の物価上昇等により、特に影響を受けている低所得世帯(R5均等割のみ課税)の負担軽減を図るため、対象世帯へ1世帯当り10万円を給付するもの。

(財源) 一般財源 25百万円

※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

(3) 市道除雪経費 (+24百万円)

市道除雪に係る燃料費の高騰や労務単価の上昇に対応するほか、老朽化著しい除雪車両の修繕に係る所要経費を計上するもの。

(財源) 一般財源 24百万円

令和6年度

(1) システム標準化・ガバメントクラウド移行経費 (+196百万円)

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により必要となるガバメントクラウド移行経費を計上するもの。

(財源) 国支出金 22百万円

一般財源 174百万円

※国支出金の状況を踏まえ、今後編成する補正予算で財源更正を行う予定。

(2) 企画一般業務（ふるさと納税特産品送付委託料）（+114百万円）

ふるさと納税の寄附件数及び寄附額は年々増加しており、それに伴う返礼品送付に係る経費についても増加していることから、その必要経費について計画に追加するもの。

(財源) その他 119百万円 (※幸福のハンカチ基金繰入金)
一般財源 ▲4百万円

(参考：寄附件数及び寄附額の推移)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (見込)	R6 (見込)
件数 (件)	13,519	13,350	15,381	16,148	18,497	18,034	17,696	19,000
金額 (千円)	360,028	342,562	379,645	366,844	388,249	400,807	410,840	407,688

※財政再生計画上の寄附受入れ規模は毎年度6,600件、99,000千円で設定されている。

(3) 市営住宅再編（老朽住宅除却工事（効果促進））（+62百万円）

夕張市営住宅等長寿命化計画において計画的に改善工事と除却工事を実施してきており、令和6年度も計画的に適切な除却工事を行っていくため必要な経費を計上するもの。

(財源) 国支出金 31百万円
地方債 31百万円

2 性質別歳入・歳出の増減

【一般会計】

令和5年度

(1) 歳入

地方交付税の増（+48百万円）、国道支出金の増（+324百万円）、繰入金の減（▲336百万円）、地方債の増（+92百万円）、その他の増（+240百万円）により369百万円の増

(2) 歳出

人件費の増（+23百万円）、物件費の増（+15百万円）、維持補修費の増（+26百万円）、扶助費の増（+41百万円）、繰出金の増（+2百万円）、その他の増（+262百万円）により369百万円の増

令和6年度

(1) 歳入

地方税の増（+107百万円）、地方譲与税の減（▲19百万円）、地方交付税の増（+142百万円）、国・道支出金の減（▲11百万円）、繰入金の増（+830百万円）、地方債の減（▲68百万円）、その他の増（+26百万円）により1,008百万円の増

(2) 歳出

人件費の増（＋130百万円）、物件費の増（＋887百万円）、維持補修費の減（▲57百万円）、扶助費の減（▲61百万円）、建設事業費の減（▲97百万円）、公債費の減（▲34百万円）、繰出金の減（▲138百万円）、その他の増（＋379百万円）により1,008百万円の増